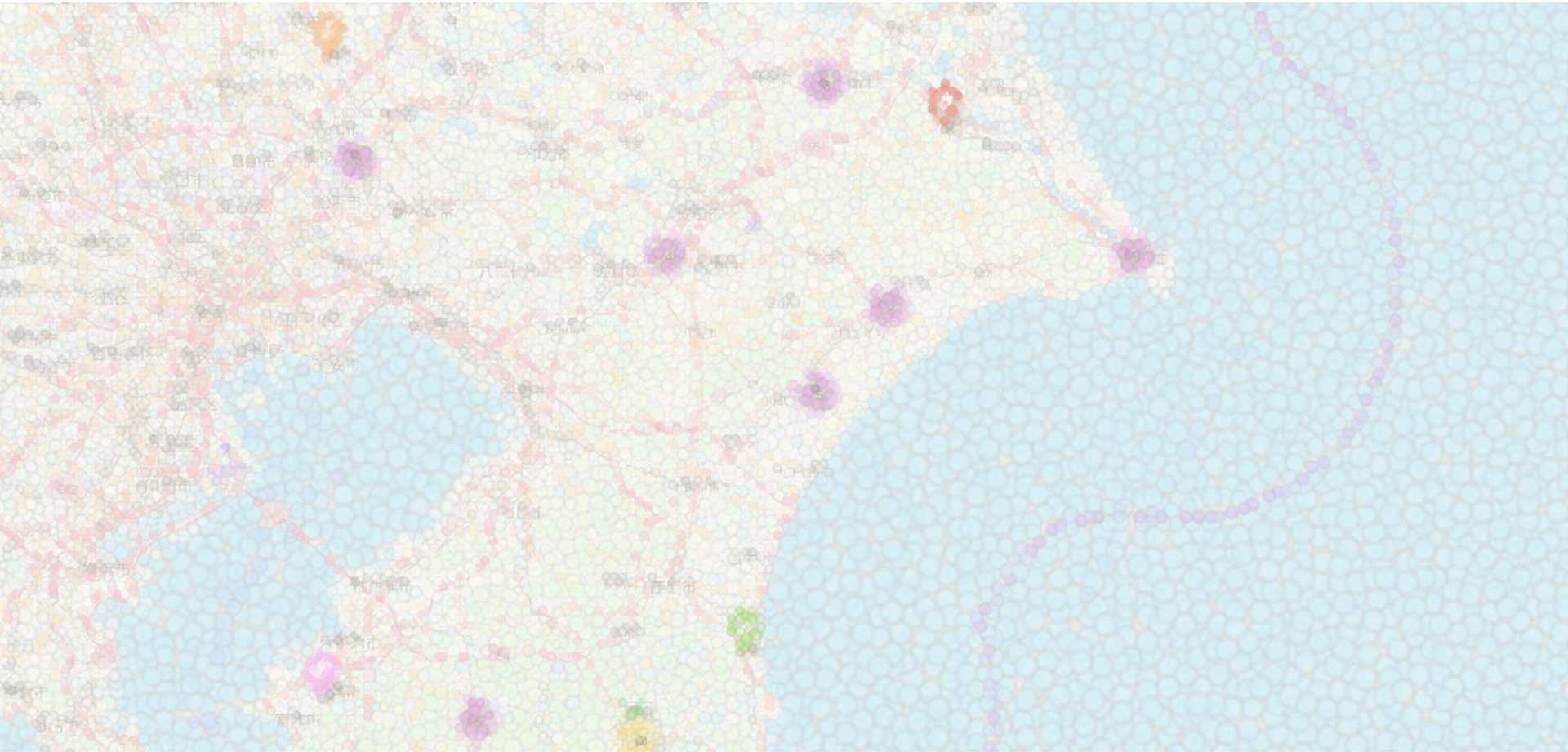


シビックテックにおけるオープンデータ活用の 効果と課題



Civic Tech Zen Chiba 代表 白澤 美幸

ジコショウカイ

白澤 美幸 MIYUKI Shirasawa



多様な生き方ができることで
幸福感が増す世界を目指して



CODE for Nagareyama

地域の課題を解決するために、地域に
住む人が一緒に考え、一緒に創り出す
学びの場を提供します

Civic Tech Zen Chiba 代表

千葉県地域IT化推進協議会データ活用部会 部会長

Code for NAGAREYAMA 代表
株式会社Colabo-ya 代表取締役
白沢電設株式会社 取締役

Teal社会の実現を目指して、『地域と地域をつないでシビックコミュニティの活性、継続のお手伝い』『学びの機会、価値を創出』をしています

大人も子どもも学ぶ機会によって幸福感を持つ

流山地元アソビづくり隊

アイデア考え会

みんなで流山が楽しくなるアソビを考えよう！！



「地元アソビづくり隊」とは、全国の小学生から地元の今よりもずっと楽しい場所に変えるアソビのアイデアを募集し、そのアイデアをバンダイナムコエンターテインメントと応募した小学生と一緒にカタチにしていく応援プロジェクトです。流山のアイデアを考える「アイデア考え会」を開催してくれる団体さん、大募集！

ワークショップの流れ

- 好きな遊びはどんなことかな？
- どのところが楽しい？
- その遊びをやったらまちはどう面白くなる？

今後のスケジュール

アイデア会
開催

応募

ドキドキの
結果発表



Photo by [Hannah Rodrigo](#) on [Unsplash](#)

主催：株式会社Colabo-ya



Civic Tech Zen Chiba



Civic Tech Zen Chiba での取り組み



Civic Tech Zen Chiba

千葉エリアのシビックテック団体、個人が集まり
相互に人と場の交流をする地方版広域連携

- 人と場をつなぐアライアンス
- 沢山の事例を相互に共有
- 大きなイベント開催&オタスケマン

Civic Tech Zen Chiba での取り組み

地域の課題を解決するために、地域に住む人が一緒に考え、一緒に創り出す学びの場を提供



GISやオープンデータ等を活用し、浦安市のまちづくりの研究している



「こそだてマップやイベントカレンダーを運用中！学校とも連携を計画中！」



No. 上総らぼ

富津市役所に協力し、行政のオープンデータ化、活用を進めICT活用の政策や施策の提言を行う

Civic Tech Zen Chiba



code for matsudo

「お祭りプロジェクト」
「データでマップ」ほか
プログラミング道場
CoderDojo Matsudoも定期開催

印西地区

テクノロジーを活用して、千葉市をよりよい街にする



「Lo～」として旧来から地域に根付く手作りのあたたか味も
「tech」として尊重し、多様なスキルを持つ人々が生き生きと共創する

いすみ地区

館山地区

活動事例 イベント開催

Code for Japan Summit2019

～Spark Joy!ときめき～

開催期間：2019年9月28日(土)、29日(日)





千葉県地域IT化推進協議会

データ活用部会

■ [サイトマップ](#) ■ [お問い合わせ](#)

千葉県地域IT化推進協議会

産学官民連携による調査・研究事業、情報交流事業を通して地域情報化の進展に寄与します

| [ホーム](#) | [協議会規約](#) | [会員名簿](#) | [事業概要](#) | [お問い合わせ](#) |

カテゴリー

■ [インフォメーション](#)

[TOP](#) > [事業概要](#) > [データ活用部会](#)

データ活用部会

設置	平成31年1月21日
代表者	Code for Nagareyama
参加者	Code for Nagareyama、株式会社バクチャー、Code for Chiba、Code for Matsudo、チーム URA-CIMA、シビックテックもばら
目的等	<p>データ活用の取組を活性化するには、多くの人にデータ活用の可能性を実感してもらう必要がある。</p> <p>そこで当部会では、多様な主体を巻き込むイベントの開催や、メリットが感じられるデータ活用を自ら実践することによって県内全域に取組を広げ、地域課題の解決を促進することを目的とする。</p>
活動実績	



データ活用部会設立目的

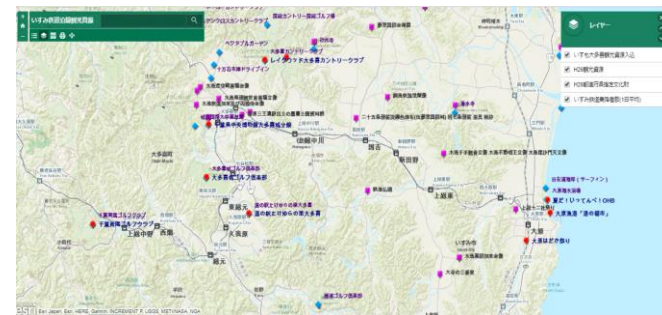
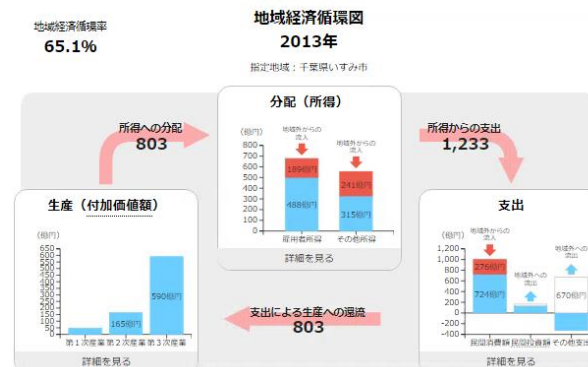
データ活用の取組を活性化するには、多くの人にデータ活用の可能性を実感してもらう必要がある。
そこで当部会では、**多様な主体を巻き込むイベントの開催や、メリットが感じられるデータ活用を自ら実践することによって県内全域に取組を広げ、地域課題の解決を促進することを目的とする。**

データ活用部会 =

いろいろな団体が主体性を持ってデータ活用を実践する

活動事例 実証実験

- RESASを利用した、地域の現状や課題、地域資源を分析するWS
- GISを利用し、位置情報がついているデータを地図上に表示しデータ分析および、活用できるフレームワークを検証するWS



活動事例 ウィキペディアタウン

ウィキペディアタウン楽しそう

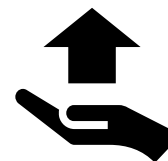


まちづくりのお手伝いができる
かも♡



図書館司書

専門性がない🙄



データ部会



2019年 7月 28日 日 10:30~16:30
(受付開始 10:00)

松戸市立図書館子ども読書推進センター2階 研修室

ウィキペディアタウンとは、Web上の百科事典 Wikipedia（ウィキペディア）の編集を通して、自分たちの街をもっと知ろう！いろいろな人に知ってもらおう！というイベントです。松戸市で初めて開催します。

活動事例 ウィキペディアタウン

価値や意味付けをする



台風被害を超えてわかった、自分でできる復興支援としてのウィキペディアタウン

♡ 19

♡ 19



ウィキペディアタウンで「台風被害」を記録する

(省略)

現地のメンバーの負担などを考えて「被災地に行つてまでウィキペディアを書く」ということの意義を再度確認したいと考えたのです。

その中で「日に日に明らかになってくる台風被害状況を残したい。伝えたい。」という意見が出てきました。被災地の記録を残すことで、地域を超えて色々な人の役に立つのではないかという思いでした。

被災地に赴き、実際に観光をすることで地域の商業の活性化にも繋がり、被災地の記録を伝承することで、他の地域の人たちの役にも立つ。

被災地で、被害の情報を取り扱うウィキペディアタウンには、複合的な意義があるということが、今回のイベントを組み立てる上で整理することができてきました。

台風被害を受けて生まれるオープンデータの活用

自治体のオープンデータ



防災情報サイト



印刷できる支援マップ



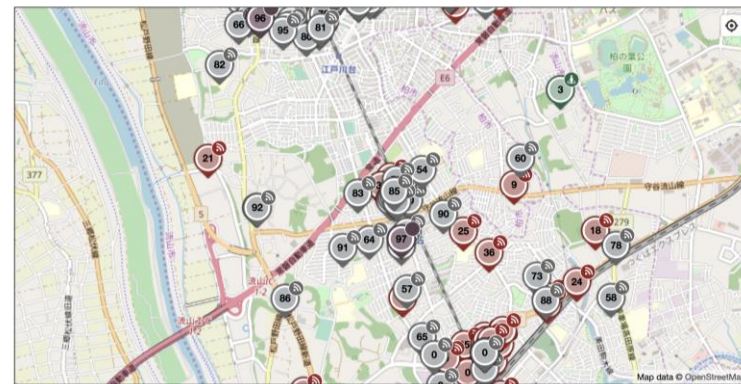
広範囲の支援



流山市洪水ハザードマップ



流山ハザードマップ



台風被害を受けて生まれるオープンデータの活用

自治体公開情報



災害支援サイト



支援をする人の情報源



広範囲の支援

シビックテック袖ヶ浦災害支援ナビゲーター

災害支援ナビゲーターQ&A

powered by Civic Tech Sodegaura

本サービスで紹介している支援内容は2019年の台風15号被害に基づくものです。災害により適用される法律や制度が異なるため、他の災害では使えない制度もございます。

質問

Q 家が被災しましたか？

A 選択してください

はい

いいえ

受けられる支援

質問に答えると受けられる可能性のある支援が表示されます。

本サービスで紹介している支援内容は2019年の台風15号被害に基づくものです。災害により適用される法律や制度が異なるため、他の災害では使えない制度もございます

「QAに答えていいたら適用される可能性が高い災害支援制度が一覧表示され、そのままリンクで飛べる」



オープンデータ活用の課題

自治体公開情報 ≠ オープンデータ

位置情報を付け、オープン（公開した）データとして生成することにより、**他の人も使うことができるデータを作る**



データを利用する人が増える
“シェアラブルデータ”



オープンデータ活用の課題

広域の情報 ≠ 自治体の情報 + 自治体の情報

広域で支援が必要な時、ひとつひとつの自治体の情報を取るのではなく**共通の情報を取ることができると**



データを利用する人が増える
“地方版広域連携”